

日本心臓血管医学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No. 62

調査者	藤田 吾郎、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年11月5日
情報ソースの調査日	2021年1月10日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021年1月14日
日本語タイトル	COVID-19 段階心臓血管リハビリテーションを提供する方法に関するデルファイコンセンサスの推奨事項
情報ソース	Ambrosetti M, Abreu A, Cornelissen V, et al. Delphi consensus recommendations on how to provide cardiovascular rehabilitation in the COVID-19 era. European Journal of Preventive Cardiology, zwaa080
情報のカテゴリー	回復期の心リハ、生活期の心リハ(介護・福祉系を含む)、包括的心リハ
発信地域	ヨーロッパ(オーストリア、ベルギー、フランス、ドイツ、ギリシャ、イタリア、オランダ、ポルトガル、ルーマニア、ロシア、スペイン、スイス)
URL	https://academic.oup.com/eurjpc/advance-article/doi/10.1093/eurjpc/zwaa080/5959871
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヨーロッパ予防循環器学会(EAPC)の専門家たちにより、COVID-19 パンデミック時の心臓血管リハビリテーション(CR)活動に関するコンセンサスを確認するためのデルファイ・プロセスがまとめられた。 ・ 総数 150 のステートメントを選択し、CR への紹介、タイミング、中核的な要素、構造指標、プロセス指標、クオリティ・インディケーターに関する質問が行われた。それらは、リッカート尺度にて評点化された。 ・ 総数 150 中 58 (39%) のステートメントでコンセンサスが得られた。 ・ COVID-19 がいない場合、CR は、通常の設定(外来を優先)、タイミング、介入の中核に従うべきである。 ・ COVID-19 患者を含むプログラムは、呼吸器障害、心理社会的管理、そして介護者に特別な注意が払われる。なお、多要素からなる在宅リハビリテーションを奨励することも必要である。 ・ COVID-19 と診断された患者が、急性心臓血管系イベントを合併している場合、CR への紹介については、高いコンセンサスが得られている。なお肺動脈性肺高血圧症についても同様である。 ・ COVID-19 段階であっても、CR は心臓血管疾患患者のケアのために重要である。また、今まで以上にこの分野における創造性と革新性が必要とされる。